

2023年8月25日

組合員・利用者さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J A 長崎せいひは、食と農を大切にし、安心と信頼を満たす活動により、豊かな地域社会を確立し、「組合員・地域住民にとってより身近な J A」「人と人のつながりを大切にする J A」となることを理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「組合員・利用者さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を組合員・利用者さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

長崎西彼農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、商品数を絞り選びやすさを重視し、長期投資を前提としたファンド、パフォーマンス実績が良好なもの、良心的な手数料等の観点で、組合員・利用者さまの多様なニーズにお応えできる投資信託を選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、組合員・利用者さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2023年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	3 (前年度末:3)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)
REIT型	2 (前年度末:2)	2 (前年度末:2)
バランス型	7 (前年度末:7)	

<商品選定の考え方>

→ JAバンクのセレクトファンドの主な選定基準等※

- ①長期投資：長期投資を前提とした投資信託であること
- ②手数料：手数料が良心的な水準であること
- ③運用実績：過去の運用実績が相対的に良好であること
- ④将来性：資産形成層には過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- ⑤運用体制：運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

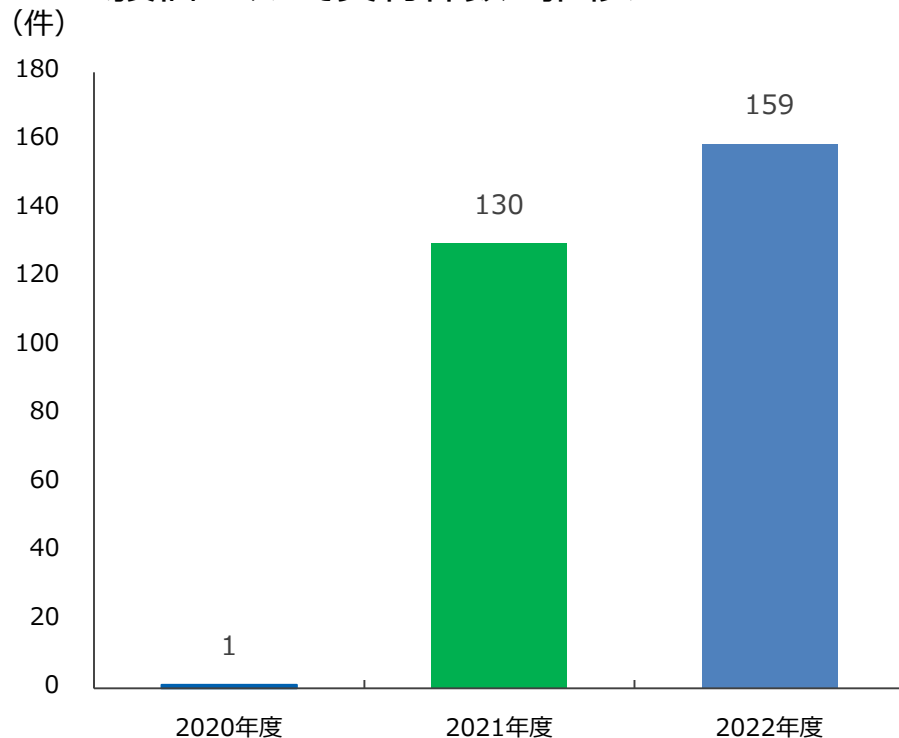
※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

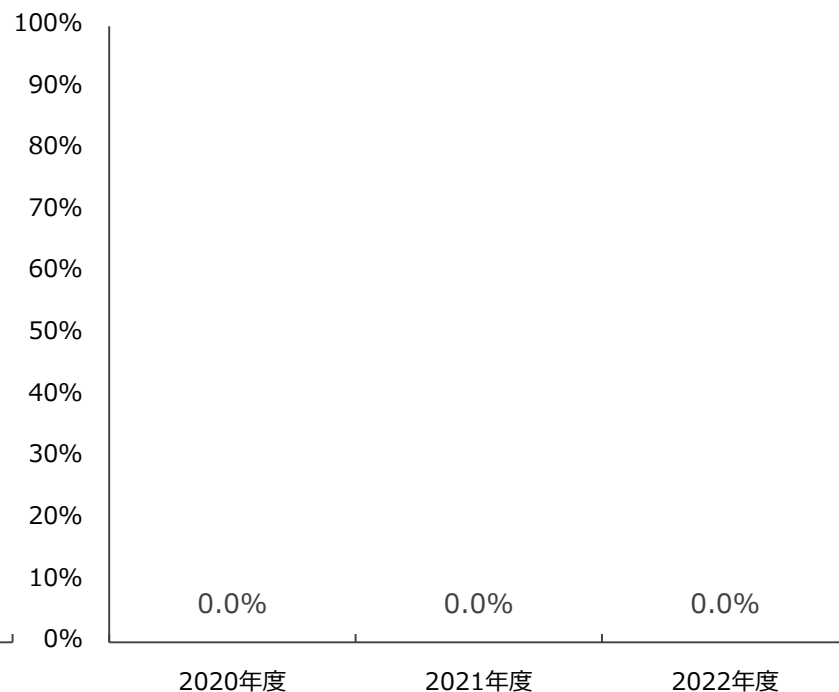
2 組合員・利用者さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- 組合員・利用者さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員・利用者さまが多数を占め、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員・利用者さまの申込受付はありませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I .取組状況

2 組合員・利用者さま本位のご提案と情報提供② 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 組合員・利用者さまのライフプランや資産状況などからご意向、ニーズを確認したうえで、組合員・利用者さまにとって最適な商品・サービスが選択できるよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、重要情報シート等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- J A長崎せいひでは、組合員・利用者さまへの商品選定や情報提供にあたり、組合員・利用者さまの利益を不当に害することがないよう「利益相反管理方針」に基づきモニタリングを実施し、利益相反管理の状況を常に検証・評価する体制を構築し、適切に管理しております。

4 組合員・利用者さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

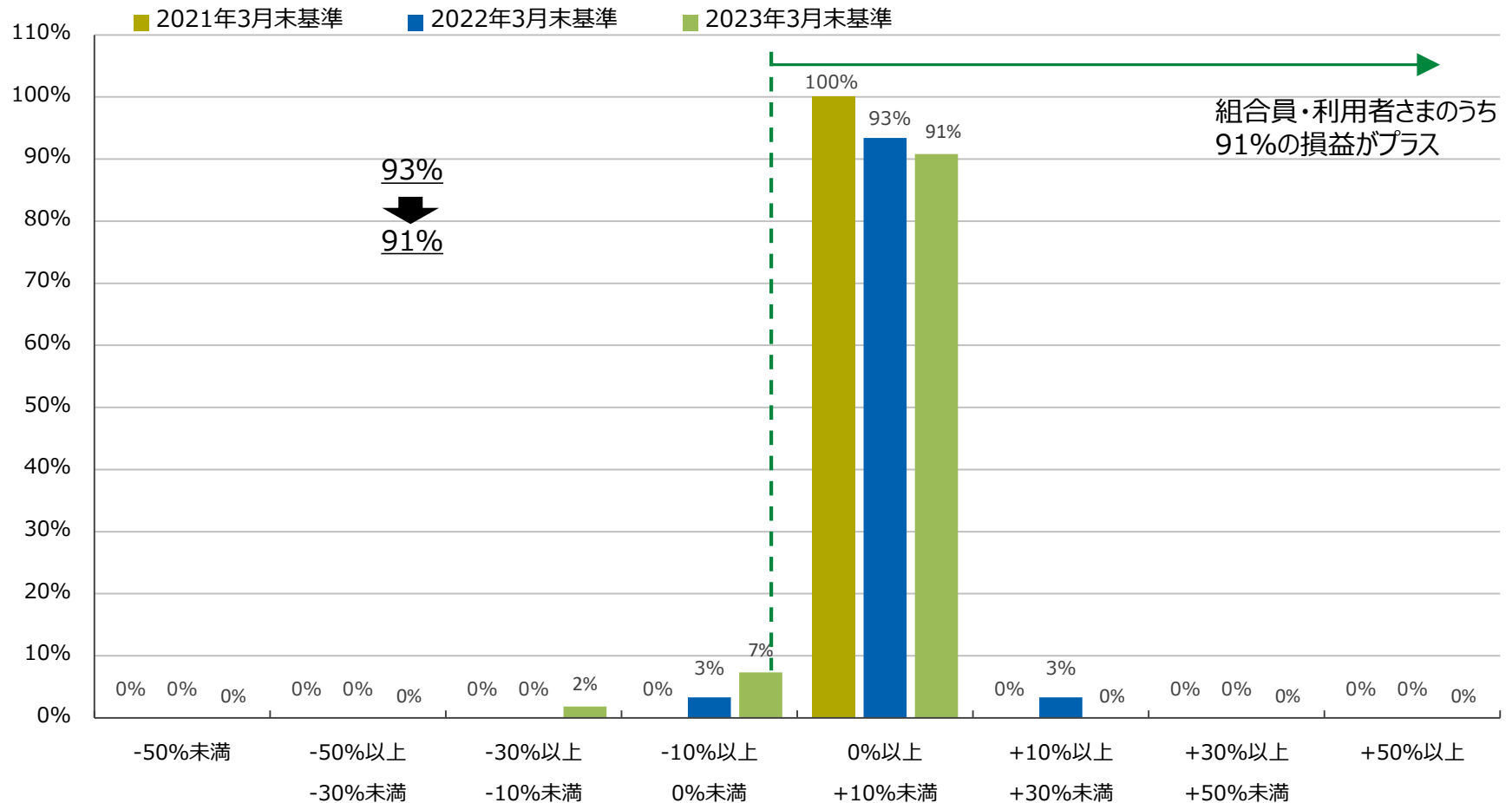
【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- J A長崎せいひでは、組合員・利用者さまの最善の利益のためのコンサルティングを実践するため、高度な専門性、高い倫理感と責任感を保持した人材育成を継続してまいります。また、当J Aの役職員は金融商品や取引に関する基本的知識の向上に努めるとともに、資産形成を促進するため、セミナー等を通じ組合員・利用者さまへの積極的な情報提供に努めます。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の91%の組合員・利用者さまの損益がプラスとなりました。

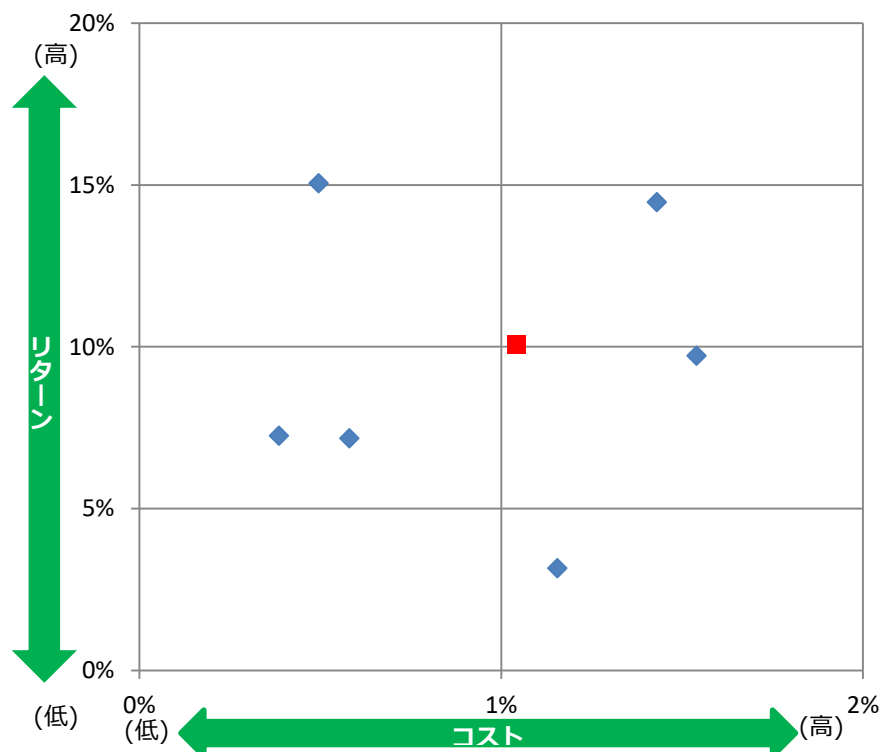


Ⅱ.比較可能な共通K P I

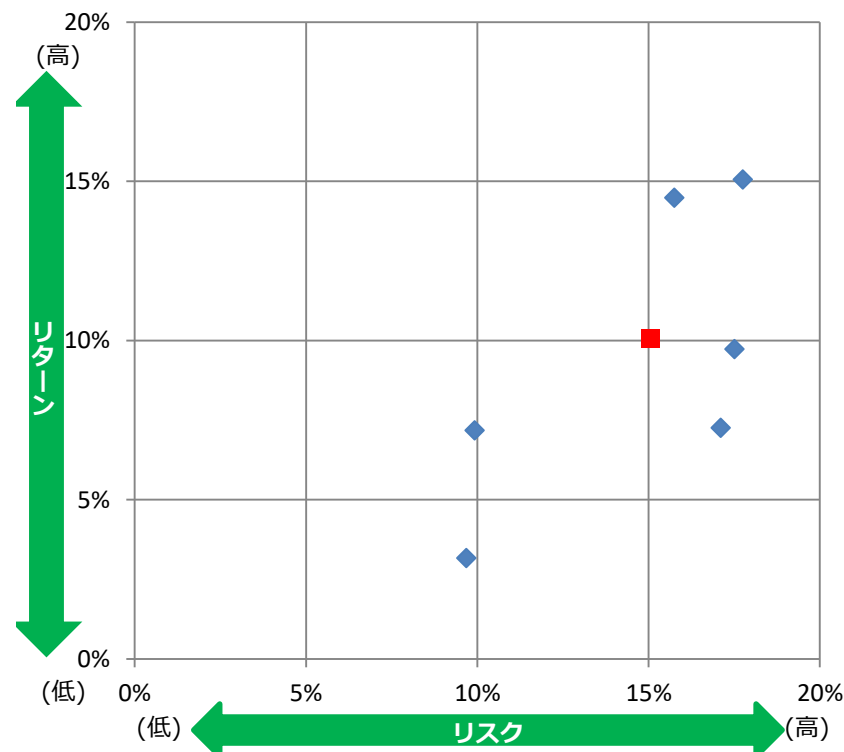
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク15.06%に対して、平均リターンは10.06%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



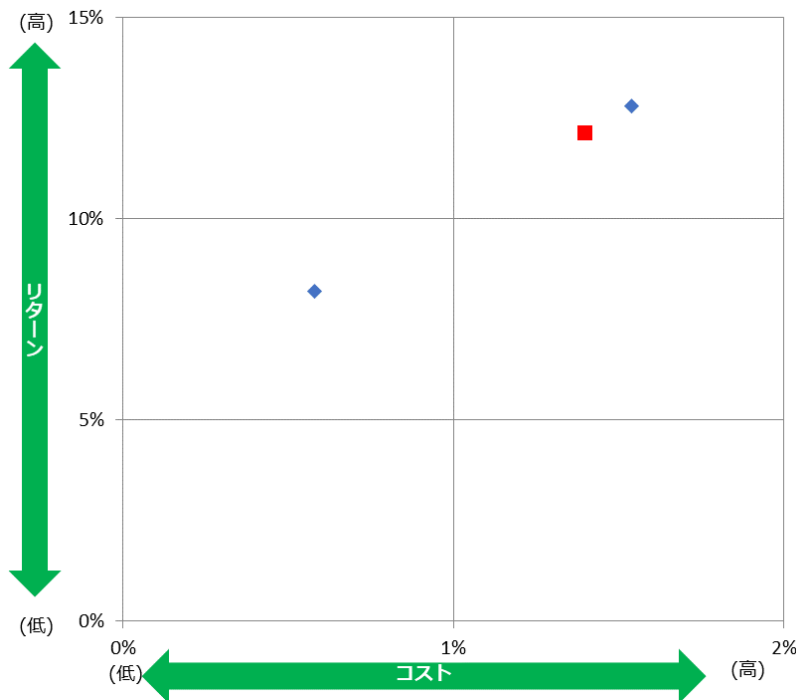
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

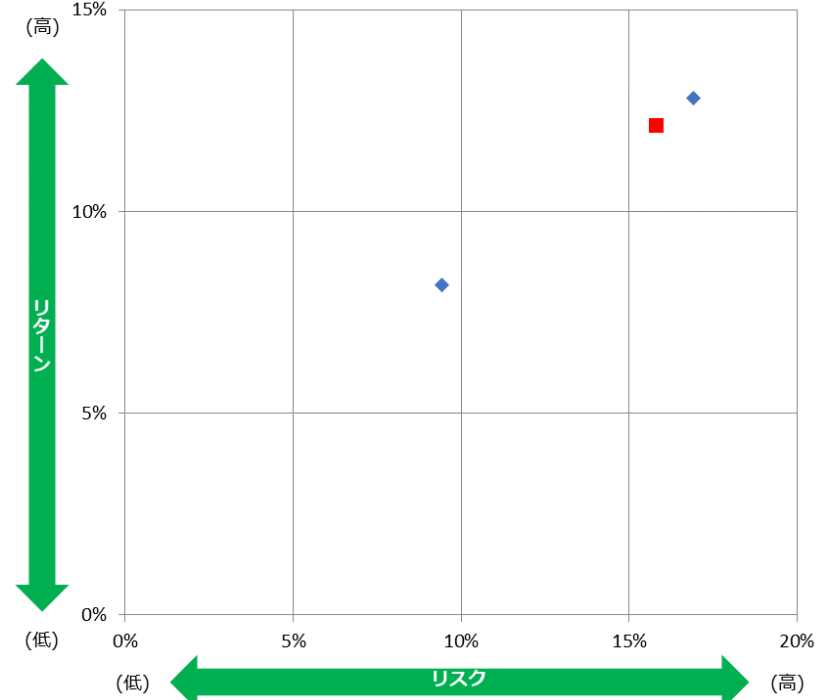
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.40%、平均リスク15.80%に対して、平均リターンは12.12%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



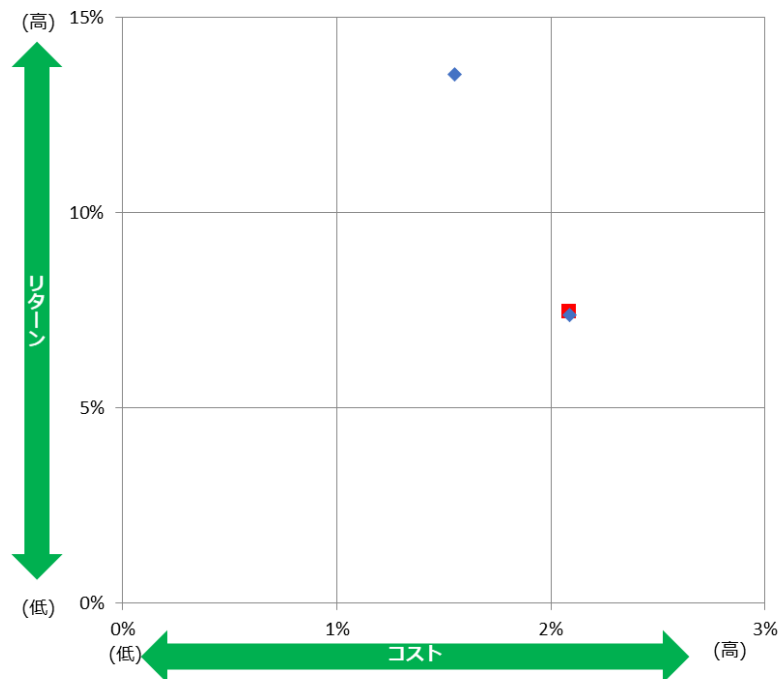
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

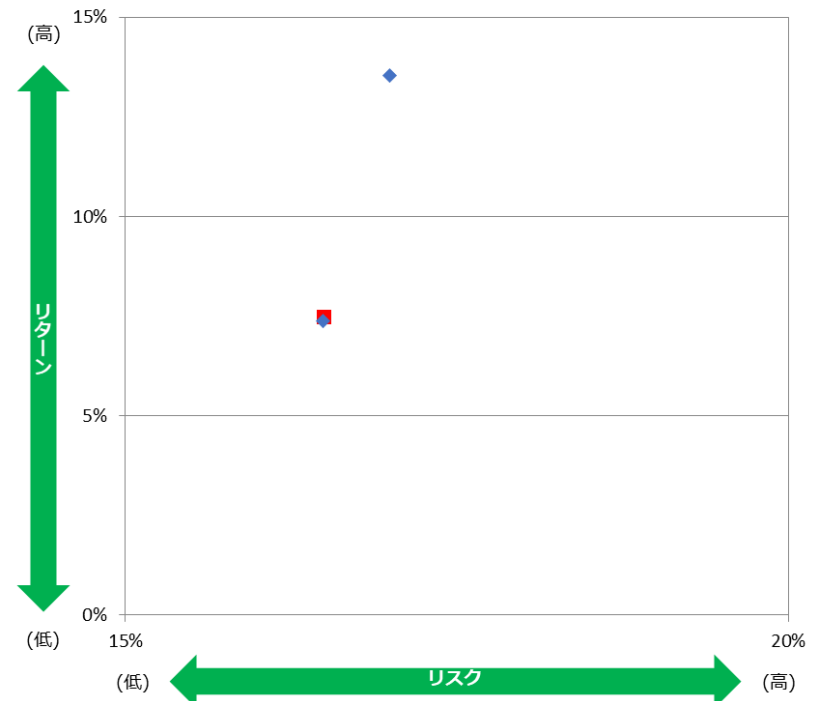
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト2.08%、平均リスク16.50%に対して、平均リターンは7.47%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.06%	15.06%	1.04%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
2	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		12.12%	15.80%	1.40%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.37%	16.49%	2.09%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	13.55%	16.99%	1.55%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.47%	16.50%	2.08%

※ 2021年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。